

**産業経済部長** 観光庁の予測として、令和6年には国際線の需要が回復してゆく。令和7年度には大

の、毎月の使用料はいただく。

**平松** 観光客が減っているコロナ禍で、あえて運行する必要性はあるのか。

**市長** 市営住宅であるので、固定資産税はかからない。市営住宅なので、毎月の使用料はいただく。

**平松 久幸 議員**

岡山空港からの吹屋への直行バス運行について

**平松** 岡山空港から吹屋への直行バス運行について具体的な内容を問う。

**平松** この25年間の固定資産税はどのようになるのか。

岡山空港からの吹屋への直行バス運行について

阪万博がある。令和12年度にはインバウンド目標6000万人、消費額15兆円を掲げてあり、対応する準備の一つとして考えている。

**新倉 淳 議員**

高梁市奨学金貸付制度について

**新倉** 平成29年度奨学金の選考では応募者7名中、基準不適合1名、貸付決定者5名となっている。基準は一応適合していても貸付対象とならず残念な思いをした学生が1名いる。その対応は如何だったのか。

**新倉** いつ収束するのか分からないコロナ禍のなか、またウクライナへロシア軍の侵攻とこんなでもない事象が起きている。これから益々、経済状況は悪くなるばかりではないかと危惧する。奨学金の定員のない自治体もある。今後、定員等の拡充の考えはあるか。

**教育次長** この奨学金の選考については、市長より諮問を受けて教育委員会が選考している。選考の内容については、人物、健康、学力及び素質、家計を十分検証し決めている。当時基準に適合した6名のうち検証結果から予算の範囲内で5名を選考した。

**教育次長** 本市では、特に育成したい人材向けとして、看護師・医学生・保育士向けの制度を拡充している。今年度においては建設技師の養成の奨学金制度も創設している。より使いやすい制度にして、定住につなげるように今後も取り組んでいきたいと考えている。

一般質問 ココ を聞きました!

【代表質問】 高梁政志会 川上修一	市長の所信について 新型コロナウイルス感染症と今後の見通しについて 人口減少について 災害について	石田芳生	まちづくりの基本理念について 落合幼稚園の閉園について 有漢義務教育学校（仮称）について
平松久幸	新型コロナウイルス感染症における本市の対応について 吹屋地区の観光について 定住対策について マイナンバーカードの運用について	三村靖行	人口減少対策について 平成30年豪雨災害復旧工事について
新倉 淳	冬取りタマネギについて 高梁市奨学金貸付制度について	森 和之	観光の振興について 新消防庁舎について 学校現場における「いのちの教育」について ペットへのマイクロチップ装着義務化について
倉野嗣雄	行財政改革について 市民サービスと防災ラジオについて 機構改革について	小林重樹	高梁市新総合計画について 令和4年度当初予算の主要施策について
石部 誠	落合幼稚園の閉園について 高梁市のデジタル改革について 水田活用の直接支払交付金の見直しについて	伊藤泰樹	高梁国際ホテルの今に至る経緯と今後について シティプロモーションについて 幼・保・こども園、小・中学校の制服の現状と課題認識について
金尾恭士	高梁市立落合幼稚園の閉園について 令和5年度から中学校の部活動指導（休日）を地域へ移行することについて 有漢義務教育学校（仮称）の進捗状況について ひきこもり対策、ヤングケアラー対策、成年後見制度対策について 公立病院のランサムウェア対策について	森上昌生	高梁市の環境施策について 高梁市の避難所対応について 高梁市の観光の方向性について
		川上博司	財政運営について
		宮田好夫	公立病院経営強化プランについて 教科担任制について 高梁川水系中上流ブロック河川整備計画について

代表質問  
高梁政志会  
川上 修一 議員

人口減少について

川上市の人口が合併時約3万8千人だったが、令和3年末には約2万8千人に減少し、世帯数も約1万4千世帯と減少している。世帯の約半数が独り暮らしであり、10年先には2万人を割る勢いで、今後非常に厳しい状況が続くのか、自助・共助・公助とあるが、行政目的は達成できるのか。

**市長** 人口減少問題に関して非常に憂慮をしている。中山間の自治体において、積極的な民間サービスの参入が望めない状況だが、しっかりと連携するのが公の仕事だ。切り札とはいかないが、新しい対策として「オーダーメイド住宅」がある。そしてこの取組を発信することで、高梁市の良いこと

災害について

川上 平成30年豪雨災害から3年が経つが落合橋周辺の河川整備の状況はどうか。

**市長** 高梁川水系中上流ブロック河川整備計画が、昨年10月に改定された。この整備計画に基づき整備を行うとして10年〜20年かかる。しかし県に要望を重ねるなかで何らかの対策を取ると話をいただいている。正式な河川断面による整備ではないが、落合橋付近からの右岸・左岸について、平成30年7月豪雨の水位でも何とか減災できる形で、整備が進んでいくと理解している。

厳しい人口減少  
市外への流出を  
どう食い止めるのか

るに注目していただき、市民の皆様と取り組んでいきたい。